

第1学年国語科学習指導案

1 単元（題材）名

新入生のための学校紹介文を書く～根拠を明確にして考えを伝える～

2 単元の目標

(1) 意見と根拠など情報と情報との関係について理解できる。

〔知識及び技能〕 (2) ア

(2) 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1) ウ

(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで話し合い、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	①「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫している。(B(1)ウ)	①粘り強く自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習の見通しをもって紹介する文章を書こうとしている。

4 単元設定の理由について

(1) 本単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、自分自身の経験をもとに、中学校生活を新入生に紹介するという言語活動を行う。これは、中学校学習指導要領国語編（平成29年告示）の第1学年、2〔思考力、判断力、表現力等〕B書くことの言語活動例ウ「詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く活動。」を踏まえている。本校の生徒の実態として、事実をもとに自分の感じたことや考えたことを書くことが課題として挙げられる。そのため、今回の学習では「根拠（事実）をもとに、意見を書くこと」に焦点を当てる。紹介する内容の基本的な情報（事実）を根拠とし、アドバイスする内容を意見としたうえで、自分自身の経験を意見と根拠をつなぐ考え（理由）とし、新入生が中学校生活を楽しみに感じられるような紹介文を考えることで、意見と根拠の結びつきを意識して書くことができると考える。

教材は、光村図書「国語1」に掲載されている「思考のレッスン1意見と根拠」を使用する。「思考のレッスン」では、意見と根拠をつなぐ考えを明らかにすることの大切さが示されている。紹介する事柄の基本的な情報（根拠）とアドバイス（意見）を自分自身の経験（理由）で結び付けて紹介文を書く生徒にとっての手立てとなると考えられる。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元では、自分自身の経験をもとに、中学校生活を新入生に紹介するという言語活動を通して、本単元の言語活動を通して、〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ「根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することができる」力を身に付けさせたい。学習指導要領解説には、「自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるか」を確かめた上で、「根拠を文章の中に記述する必要があることを理解して書くことが重要である。」と記されている。中学校生活のなかでも紹介したい内容(意見)を繰り返すのではなく、自分自身のどのような経験(理由)から意見に至ったのかを明らかにして書くことを意識させたい。

また、上記の力を身に付けさせるために、〔知識及び技能〕(2)ア「意見と根拠など情報と情報との関係について理解する」力を身に付けさせたい。学習指導要領解説には、「相手の考えを理解したり自分の思いや考えを表現したりするためには、話や文章の中に含まれている情報と情報とがどのように結びついているかをとらえたり、整理したりすることが必要となる。」と記されている。紹介文を書く上で、その事柄を紹介したいという思いとその思いに至った事実(根拠)と経験(理由)を整理することが必要不可欠であると考えられる。

(3) (1) の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

本学級は、同系統の学習として、SDGs について自分でテーマを決めて調べた事実を説明する文章を書くという学習を行った。その際、集めた情報を比較したり分類したりして情報を整理する方法を学んだ。また、書くことを厭わない姿勢を育てるため、絵本の続きを考えて書いたり、物になりきって書いたりする活動を取り入れている。

5 単元の指導と評価の計画（全5時間扱い）

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○新入生に紹介する内容とその根拠に関連する経験や事実を整理する。 ○紹介する内容の基本情報や自分自身の経験、アドバイスをGIGAタブの発表ノートに整理する。	〔知識・技能〕①	ワークシート
2 3	○ワークシートを読みあう。 ○観点を踏まえてコメントをしあう。 ○グループで話し合う。	〔思考・判断・表現〕①	交流コメント 観察
4 5	○交流をもとに推敲する。 ○単元を振り返る。	〔主体的に学習に取り組む態度〕①	紹介文

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
事前	○教科書P52「思考のレッスン1」を用いて、意見と根拠の結びつきを理解する。	・例文を用いて、根拠の必要性や意見と根拠をつなぐ理由の必要性に気付かせる。	
1	○単元の課題を知り、学習の見通しをもつ。 ○事前のアンケート結果を全体で共有し、自分が紹介したい題材を考える。 ○GIGA タブの発表ノートを活用し、紹介したい題材の基本的な情報（根拠となる事実）とアドバイス（意見）とそれをつなぐ自分自身の経験（理由）を整理する。	・次年度の新入生のために学校紹介文を書くことを伝え、目的意識や相手意識を高める。 ・入学前に知っておくと不安が減ることや楽しみが増えることを具体的に想起させる。 ・アンケート結果が、基本的な情報（根拠となる事実）につながるように工夫する。 ・紹介したい題材において伝えたいアドバイス（意見）と、その前提となる基本的な情報（根拠となる事実）を明確にさせる。 ・根拠となる事実と意見をつなぐ理由（経験）を具体的にさせる。	〔知識・技能〕① ワークシート ・根拠に関連する具体的な経験や事実が書かれているか。 Cの生徒に対する手立て ・紹介する内容が決まらない生徒には、自分だったら入学前に知っておいたら安心できることや嬉しいことを考えさせる。 ・根拠と理由が書けない生徒には、事実と経験を分けさせる。

2 ・ 3	<p>○前時に作成したGIGAタブの発表ノートをストックションショットで保存し、4人グループで共有し、ワークシートを読みあう。</p> <p>交流の観点やコメントの仕方を踏まえて、コメントをしあう。</p>	<p>・交流の観点やコメントの仕方を踏まえて、工夫されている点や改善点を伝え合えるよう、交流の観点やコメントの仕方を共通理解させる。</p>	<p>〔思考・判断・表現〕① コメント</p> <p>・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫しているか。</p> <p>Cの生徒に対する手立て</p> <p>・コメントが書けない生徒には、自分が小学生だったら、分かりにくいと思う表現はないか考えさせる。</p>
<p>交流の観点</p> <p>★理由が根拠と意見をつなぐものとなっているか。</p> <p>★基本情報（根拠となる事実）と経験（理由）の内容に過不足がないか。</p> <p>※不足例）小学生には伝わりにくい中学校生活ならではの事柄があれば丁寧に伝える</p> <p>過剰例）アドバイス（意見）したい事柄に関係のない話題が混ざっていれば、内容を絞る</p>			
<p>コメントの仕方</p> <p>・工夫されている点や改善点を挙げるときは、具体的にその部分を引用する。</p> <p>・情報の過不足があれば、その改善案を提示する。</p>			
<p>○4人グループで話し合う。</p> <p>○交流時にもらったコメントを基に、ワークシートを推敲する。</p>	<p>・コメントを基に、根拠が意見を裏付けるものとなっているかを話し合う。</p> <p>・もらったコメントを基に、自分が小学生に安心して中学校生活を送ってもらうために伝えたいことを再確認させる。</p>		
4	<p>○紹介文を完成させる。</p>	<p>・コメントを基に、どの表現を、なぜ、どう直すのかを整理させる。</p>	<p>〔主体的に学習に取り組む態度〕①</p> <p>・自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、紹介する文章を書こうとしているか。</p>

5	○単元を振り返る。	・言語活動を振り返り、以下のような点をまとめさせる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①読み手の立場に立って、意見が伝わりやすい文章にするために工夫したこと。 ②身についた力やできるようになったこと。 ③工夫しようとしたが、十分にはできなかつたこと。 ④今後生かせそうなこと。 </div>		
		・意見が伝わりやすい文章の工夫点は、交流の観点をもとに振り返らせる。	

6 本時（全5時間中の3時間目）

(1) 本時の目標

根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)ウ

(2) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導入 (10分)	○学習の見通しをもつ。	・単元目標と全時の学習課題を一覧にしたプリントを基に、本時の課題を確認させる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> より伝わりやすい紹介文になるように、根拠と意見のつながり確かめて、アドバイスしあおう </div>		
	○前時の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートをもとに、自分が紹介したいことを再確認する。 ・交流の観点を再確認する。 	

<p>展開 (35分)</p>	<p>○入力されたコメントを読む。(5分) ○4人グループで、互いに入力したコメントを基に話し合う。(20分) ○話し合いの内容を基に、ワークシートを推敲する。(10分)</p>	<p>・入力されたコメントを基に、推敲するために聞きたいことを確認させる。 ・コメントを基に、具体的に良かった点や改善点を伝え合わせる。 ・なぜ、どのように書き換えるのがよいのかを話し合わせる。 ・ワークシートの変容がわかるように、コピーしたものに書き加えたり書き直したりする。</p>	<p>〔思考・判断・表現〕① コメント ・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫しているか。 Cの生徒に対する手立て ・言いたいことがうまく表現できない部分はないか確認し、周りからアドバイスをもらうように助言する。 ・自分が読み手だったらと想定させ、難しい表現やわかりにくい表現があればその点を伝えさせる。</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○本時の学習活動を通じて学習目標を達成することができたか振り返る。 ○次回の活動を知る。</p>	<p>・読み手の立場に立って、根拠を明確にしながら意見を伝える紹介文になるよう考えることができたかを中心に、振り返りを書かせる。 ・次回は、今回話し合った内容を基に、推敲することを伝える。</p>	